

平成24年度（平成23年度決算）

みやき町教育委員会 事務事業評価報告書

みやき町教育委員会

教育委員会事務事業評価の実施について

(目的・趣旨)

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」の一部改正が行われ、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくために実施していくものである。

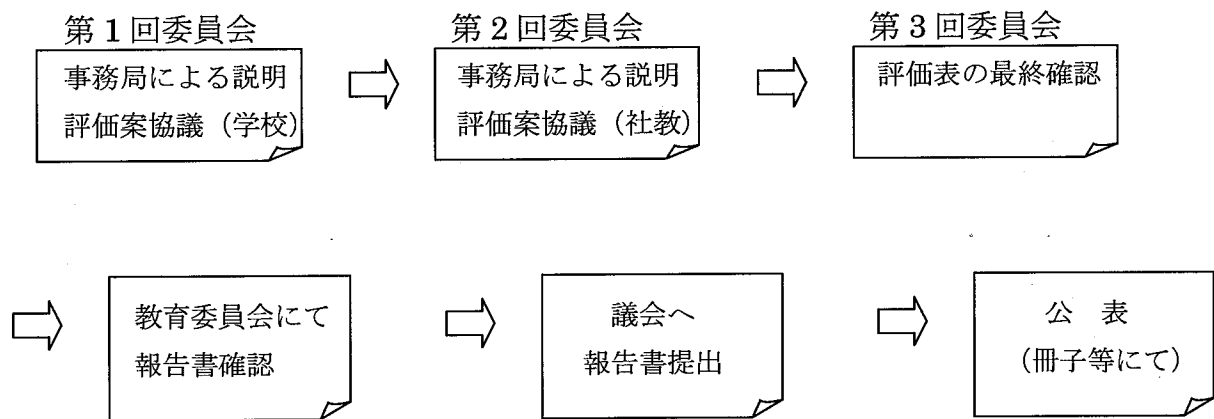
【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会へ提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(評価の実施)



(評価シートの項目)

町の教育の基本方針に沿い、予算費目別に事業単位での活動状況の点検及び評価を行う。

(評価委員の構成)

学識を有する者3名程度、地域団体関係者2名程度の計5名以内とする。

○ みやき町教育委員会評価委員会設置要綱

平成 22 年 4 月 23 日

(設置)

第 1 条 みやき町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検評価を行うに当たり、学識経験者等の意見を求めるため、みやき町教育委員会評価委員会（以下、「評価委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 評価委員会は、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について評価を行い、評価に基づく指摘事項を協議する。

(組織)

第 3 条 評価委員会は、委員 5 人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験者及び地域団体等の関係者で構成する。

(委員長及び副委員長)

第 4 条 評価委員会に委員長及び副委員長 1 人を置く。

2 委員長は、委員の互選によって選出し、副委員長は、委員長の指名により選出する。

3 委員長は、評価委員会の会務を総括する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(招集等)

第 5 条 評価委員会は、委員長が招集し、その会議の議長となる。

2 委員長は、必要に応じて、評価委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第 6 条 評価委員会の庶務は、教育委員会学校教育課が行う。

(補則)

第 7 条 この要綱に定めるもののほか、評価委員会の運営に関し、必要な事項は委員長が定める。

附 則

この要綱は、公布の日より施行する。

平成24年度（平成23年度決算）事務事業評価に係る事業一覧表

【学校教育課】

事業名	ページ数
○ 学校施設耐震化事業	1
○ 学校施設改修事業	2
○ 魅力ある学校づくり推進事業	3
○ 原子力・エネルギー教育支援事業	4
○ 地域スポーツ人材活用実践支援事業	5
○ 外国青年招致事業	6
○ 中学校武道必須化に向けた地域連携指導実践事業	7
○ 教育委員会活動事業	8
○ 特別支援教育支援員配置事業	9
○ スクールカウンセラー事業	10
○ 緊急雇用対策事業	11
○ 要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	12
○ 育英資金貸付基金事業	13
○ 学校給食センター事業	14

【社会教育課】

事業名	ページ数
○ ふるさと雇用再生基金事業	15
○ 放課後児童健全育成事業	16
○ 図書館事業	17
○ 生涯学習事業	18
○ 青少年健全育成事業	19
○ 文化財保護事業	20
○ 放課後子ども教室事業	21
○ 九州及び全国競技大会出場補助事業	22
○ 町体育協会補助事業	23
○ 町民体育大会実行委員会補助事業	24
○ 各種スポーツ大会等開催事業	25
○ 北茂安B&G海洋センター教室開催等事業	26

事業名	学校施設耐震化事業		所管課	学校教育課	担当	教育総務担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	182,083	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			53,458				128,625
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進					
	主要施策	学校施設・設備の充実					
事業の内容等	児童生徒及び地域住民の安全性確保のため、耐震性のない校舎・体育館について耐震化を図る。						
事業の実績等	<p>町立の小学校、中学校における校舎及び屋内運動場の耐震化を必要とする棟は14棟ある。平成21年度～平成24年度に全ての棟について耐震化を計画している。</p> <p>平成21年度は、中原小学校屋内運動場1棟、三根東小学校屋内運動場1棟</p> <p>平成22年度は、中原小学校校舎3棟、北茂安中学校2棟</p> <p>平成23年度は、三根東小学校校舎1棟、三根西小学校1棟、中原中学校2棟の耐震補強工事を行った。</p>						
事業の成果等	自己評価	計画どおり順調に進んでいる。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	学校施設改修事業		所管課	学校教育課	担当	教育総務担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	18,259	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			16,461				1,798
基本方針	重点目標	いきいき楽しい学校教育の推進					
	主要施策	学校施設・設備の充実					
事業の内容等	学校施設の老朽化に対し改修を行う。						
事業の実績等	<p>中原小学校体育館改修工事 北茂安中学校施設改修工事（屋上防水改修工事） 北茂安小学校保健室空調設備工事 三根東小学校掲揚ポール設置工事 北茂安中学校掲揚台改修工事</p>						
事業の成果等	自己評価	<p>中原小学校は、体育館ステージ下収納庫改修により利用時の安全確保ができた。 その他4工事においても、施設老朽化等の改修を行なうことで、教育環境の充実を図ることができた。</p>					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	魅力ある学校づくり推進事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小学校費・中学校費			
事業費 (千円)	435	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				435			
基本方針	重点目標	心豊かに、自ら学ぶ力を高める学校づくりを目指す					
	主要施策	学力向上、地域交流を目的とした教育事業の推進を図る					
事業の内容等	<p>中原小学校では、家庭での親子読書時間の実施等における語学教育の向上、地域交流事業を通じて地域連携教育を図る。また、中原中学校、三根中学校では、教職員研修会等の実施を通して、子ども達の学力向上への意欲増進や心豊かな人格形成の促進を図る。</p>						
事業の実績等	<p>事業実施校：中原小学校・中原中学校・三根中学校（全校単年事業（中原小は3年目））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中原小学校 読み聞かせ会や家庭読書時間を設けることにより、語学力向上を図ることができた。また、伝統工芸等の体験学習や中学校との共同事業の実施により、小学校だけで補えない教育指導を図ることができた。 ・中原中学校 生徒のグループ学習実施を目的に教職員研修や先進校への視察を実施することにより、生徒の学習意欲、学力向上を図ることができた。 ・三根中学校 生徒の自己実現を図る進路指導の充実を目的に、キャリア教育実施のための教職員研修や生徒の適正検査を実施することにより、生徒の進路指導や生活態度の適正化を図ることができた。 						
事業の成果等	自己評価	子ども達に対する指導事業の取組みについては、ほぼ当初の目標を達成したと考えている。教職員研修については、ワークショップ型の研修会や先進地視察により教職員の指導力や教育意欲の向上を図ることができた。また、子ども達自身に対する指導事業の取組みについても、概ね自己目標達成のため、意欲向上を図ることができた。今後は、本事業内容の継続を図り、より一層の指導力向上を進めていきたい。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	今後は、全校で実施できるように努力していただきたい。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	実施校については、学力向上する等実績を上げているため、未実施校についてもぜひ実施できるように努めていく。						

事業名	原子力・エネルギー教育支援事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小学校費			
事業費 (千円)	158	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				158			
基本方針	重点目標	身近なエネルギーに対する知識の習得を目指す					
	主要施策	エネルギー供給や仕組みの学習を目的とした教育事業の推進を図る					
事業の内容等	特定学年の授業において、エネルギー館の見学を通じて、エネルギー供給の仕組み等の知識の習得を図った。						
事業の実績等	事業実施校：中原小学校 事業実施年数：単年申請の3年目 ①九州エネルギー館見学・・・・・・・・・・6年生						
事業の成果等	自己評価	本事業補助金によりバス借上げを活用して、子ども達にエネルギーの発生や供給の仕組みについて、教科書だけの学習より、より良い学習を行なうことができた。また、参加した児童が感想を発表する場を設け、他の児童の意識向上も図った。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	地域スポーツ人材活用実践支援事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当
				費目	小・中学校費		
事業費 (千円)	402	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				402			
基本方針	重点目標	外部指導者を活用して、スポーツ技術等の習得を目指す					
	主要施策	体育授業や運動部活動において、基本的、専門的な指導強化を図る					
事業の内容等	小学校における体育授業や中学校における運動部活動において、専門的な外部指導者を活用して、学校教諭で補えない基本的・専門的な技術の習得を図る。						
事業の実績等	<p>事業実施校：三根西小学校（体育授業）、町内3中学校（運動部活動）</p> <p>事業実施年数：単年申請の3年目</p> <p>1回：3,000円</p> <p>①三根西小学校・・・体育授業（水泳）、対象：低学年、回数5回</p> <p>②中原中学校・・・運動部活動（剣道、野球、卓球）、回数各16回</p> <p>③北茂安中学校・・・運動部活動（野球、陸上）、回数各16回</p> <p>④三根中学校・・・運動部活動（卓球、剣道、バレーボール）、回数各16回</p>						
事業の成果等	自己評価	<p>小学校においては、ほとんどの教諭が専門的科目の指導をしていないこと、中学校においては、全ての運動部活に専門的指導ができる教員が顧問になれない問題があるため、専門的技術を有する外部指導者の指導により、子ども達に基本的、専門的技術を習得させることができた。</p>					
	<p>達成</p> <p>おおむね達成</p> <p>やや不十分</p> <p>不十分</p>						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	<p>達成</p> <p>おおむね達成</p> <p>やや不十分</p> <p>不十分</p>	地域で指導できる方の人材発掘、体協への指導依頼も検討されたい。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	年々、回数が減少しているため地域・体協への協力の呼びかけを行い、専門的な技術を習得させることに努めていく						

事業名	外国青年招致事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	外国青年招致事業費			
事業費 (千円)	14,551	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						168	14,383
基本方針	重点目標	町内児童、生徒の英語学力の向上を目指す					
	主要施策	英語圏外国人の指導にて、語学力向上と異国文化の知識習得を図る					
事業の内容等	町内中学校に外国人指導者（ALT）を雇用して、中学校における英語授業での日本人教諭のアシスタント及び小学校における外国語体験学習での指導を行ない、子ども達の外国語学力の向上と異国文化の知識習得を図る。						
事業の実績等	<p>雇用ALT：米国男性2名（中原、北茂安）、米国女性1名（三根）計3名</p> <p>現ALT勤務年数：男性ALT2名とも4年目、女性ALT3年目</p> <p>ALT勤務時間：週4.5日勤務のうち、1日を同校区小学校に派遣</p> <p>その他：英語授業以外でも、運動会や文化祭等の学校行事にも協力している。</p>						
事業の成果等	自己	町内ALT3名とも、学校における勤務評価も良好で、ある程度の日本語での会話も出来る。授業時間以外でも子ども達に親しく接しており、「言葉が通じない。」といった固定観念を払拭させ、子ども達の外国語学力向上、並びに学習意欲増進に貢献した。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	中学校武道必修化に向けた 地域連携指導実践事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当																					
			費目	小・中学校費																							
事業費 (千円)	926	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																				
				926																							
基本方針	重点目標	新学習指導要領に伴う教職員の指導力向上を目指す																									
	主要施策	剣道における礼儀作法を取入れた教育の推進を図る																									
事業の内容等	新学習指導要領により平成24年度から実施される体育授業における武道・ダンス必修化において、剣道競技を通じて外部指導者との指導を実施して、子ども達の心豊かな人格形成の促進を図る。																										
事業の実績等	事業実施校：三根中学校（単年事業）																										
	<ul style="list-style-type: none"> 外部指導者の指導授業15回 竹刀、防具購入40組 その他競技に必要な消耗品購入 研究発表会の開催 生徒へのアンケート調査 	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">○アンケート結果（事業前と事業後の評価）</th> </tr> <tr> <th colspan="3">剣道競技を体験する（した）ことについて</th> </tr> <tr> <th></th> <th>事業前</th> <th>事業後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・プラスイメージ</td> <td>12</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>・概ねプラスイメージ</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>・概ねマイナスイメージ</td> <td>10</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>・マイナスイメージ</td> <td>10</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>						○アンケート結果（事業前と事業後の評価）			剣道競技を体験する（した）ことについて				事業前	事業後	・プラスイメージ	12	23	・概ねプラスイメージ	8	7	・概ねマイナスイメージ	10	4	・マイナスイメージ	10
○アンケート結果（事業前と事業後の評価）																											
剣道競技を体験する（した）ことについて																											
	事業前	事業後																									
・プラスイメージ	12	23																									
・概ねプラスイメージ	8	7																									
・概ねマイナスイメージ	10	4																									
・マイナスイメージ	10	6																									
事業の成果等	自己評価	剣道競技の外部指導者による指導方法を通じて、教職員の指導力向上が図れたことは勿論のことではあるが、生徒達への挨拶や礼儀作法の伝授も併せて指導することができ、通常の学校生活における生徒指導にも活用できた。																									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																										
評価委員	評価結果	指摘事項																									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし																									
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																										

事業名	教育委員会活動事業			所管課	学校教育課	担当	教育総務担当
				費目	委員会費		
事業費 (千円)	952	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							952
基本方針	重点目標	教育の基本方針の総合的施策の推進					
	主要施策	教育の基本方針の教育行政の推進					
事業の内容等	教育委員会の活動状況や会議運営状況等						
事業の実績等	<p>〈主な学校行事参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校入学式（4／8）・中学校入学式（4／11）・・・教育委員分散しての告辞 ○ 学校訪問（年間通して、小中学校7校の訪問）・・・教育委員全員 ○ 運動会・体育大会への参加・・・教育委員分散しての参加 ○ 文化祭・・・教育委員分散しての参加 ○ 青少年主張会・・・教育委員全員 ○ 小学校卒業式（3／16）・中学校卒業式（3／9）・・・教育委員分散しての告辞 <p>〈主な会議参加関係〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町定例教育委員会（年12回）・町臨時教育委員会（年4回） ○ 三養基郡教育委員会連絡協議会（春と秋の年2回） ○ 教育委員長・教育長合同会議（4月） 						
事業の成果等	自己評価	学校行事には、積極的に参加している。教育委員自身、子どもたちの学校生活を把握できる機会を逃さないように思っているところである。会議関係では、町定例教育委員会のほか、県・三神地区の連絡協議会等の研修による意見交換や情報共有ができています。地域の声を聴くため、地区懇談会・PTA等の行事に積極的な参加を行っているところである。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	全事業に参加されており、特になし。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	特別支援教育支援員配置事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当																																								
				費目	事務局費																																										
事業費 (千円)	8,637	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																																								
							8,637																																								
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進																																													
	主要施策	特別支援教育の一層の充実																																													
事業の内容等	小中学校に在籍する障害を持つ児童生徒に対して、学校教育活動上の日常生活の介助や学習活動上のサポートを行う。																																														
事業の実績等	○ 特別支援学級入級者の状況（H23.5.1現在）																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>知的学級</th> <th>情緒学級</th> <th>通級学級</th> <th>学校名</th> <th>知的学級</th> <th>情緒学級</th> <th>通級学級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中原小</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>中原中</td> <td>3</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>北茂安小</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>北茂安中</td> <td>1</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>三根東小</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>/</td> <td>三根中</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>三根西小</td> <td>1</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>計</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>								学校名	知的学級	情緒学級	通級学級	学校名	知的学級	情緒学級	通級学級	中原小	1	3	1	中原中	3	/	/	北茂安小	4	4	13	北茂安中	1	/	/	三根東小	3	3	/	三根中	2	2	/	三根西小	1	/	/	計	15	12
学校名	知的学級	情緒学級	通級学級	学校名	知的学級	情緒学級	通級学級																																								
中原小	1	3	1	中原中	3	/	/																																								
北茂安小	4	4	13	北茂安中	1	/	/																																								
三根東小	3	3	/	三根中	2	2	/																																								
三根西小	1	/	/	計	15	12	14																																								
○ 小学校4校に7名・中学校1校に1名を配置 ○ 通級者（まなびの教室）の状況 ・中原小学校1名、北茂安小学校13名が、北茂安小学校内通級学級へ週2回程度の通級を行っている。 ○ 通常学級においても、特別支援教育が必要な児童生徒がいるので、支援員が補助で入ることで、対象児童生徒への対応を行っている。																																															
事業の成果等	自己評価	平成22年度より、北茂安小学校に通級学級（学習障害傾向・多動障害傾向等を持つ児童への個別対応教室）を開校した。週2回程度、個に応じた教科指導を行うことで、学校生活サポートが的確にできている。また、通常学級においても、支援員が教諭補助員（T2）の役割を行い、個に応じた指導を行っている。特別支援を必要とする児童生徒が年々増す中、学校生活に支障がないようにサポートしていくことが大切だと思われる。																																													
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																																														
評価委員	評価結果	指摘事項																																													
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし																																													
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																																														

事業名	スクールカウンセラー事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
				費目	事務局費			
事業費 (千円)	1,570	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
				523			1,047	
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進						
	主要施策	豊かな心を育む教育の推進						
事業の内容等	教育相談に関して、専門的な知識・経験を有する者をカウンセラーとして配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。中学校の事業費については、県費となる。							
事業の実績等	<p>○ 小学校においては、児童の友人関係や発達障害に対する相談が多かった。特に、児童とともに保護者のカウンセリングが多くなっている。中学校においては、不登校傾向生徒に係る相談が多く、生徒自身は、友人関係関することや進路に係る相談が多くみられる。</p> <p>○ 各小中学校において、教員及び保護者に対し、カウンセラーによる研修会を年1～3回行った。</p>							
	学校名	児童(人)	保護者(人)	教員等(人)	学校名	生徒(人)	保護者(人)	教員等(人)
	中原小	14	30	19	中原中	41	3	10
	北茂安小	77	29	16	北茂安中	30	15	9
	三根東小	24	5	9	三根中	46	9	7
	三根西小	0	36	46	計	117	27	26
	計	115	100	90				
事業の成果等	自己評価	昨年度に比べると、児童生徒の相談が2倍程度増加しており、この事業がうまく啓発できていると思われる。悩みや心配事がある児童生徒や保護者がカウンセラーへ相談することによって、教職員が発達障害への対応のあり方や不登校等への早期発見への未然防止ができてきているところである。また、保護者へのカウンセラー指導助言により、学校と家庭との連携が充実してきている。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分							
評価委員	評価結果	指 摘 事 項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	カウンセラーと教委の連携をとって欲しい、また、相談者数に対してカウンセラーが少ないので、校区に一人充てて欲しい。						
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等							
	定期的にカウンセラーとの協議の場を設けるように努め、カウンセラーの増員について県に要望する。							

事業名	緊急雇用対策事業		所管課	学校教育課	担当	教育総務担当	
			費目	事務局費			
事業費 (千円)	11,765	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				11,765			
基本方針	重点目標	「生きる力」を育む教育の推進					
	主要施策	確かな学力を育む教育の推進					
事業の内容等	教諭補助事業・・・中学校に教諭補助員を配置し、生徒の学力向上及び生徒指導を行う。 外国語活動支援事業・・・小学校4校に外国語活動講師を雇用し、外国語の言語や文化についての理解を深める。						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教諭補助事業 決算額 8,963,352円 <ul style="list-style-type: none"> ・町の直接雇用（3中学校に6名、不登校対策（事務局内勤務）1名・・・計7名の配置） ・中原中学校1名（国語） 北茂安中学校3名（社会・体育） 三根中学校2名（体育・理科） ・担当教科でTTを実施し、T2の役割を担うことで学習支援を行った。 ○ 外国語活動支援事業 決算額 2,802,327円 <ul style="list-style-type: none"> ・委託先 みやき町社会福祉協議会 1名の派遣 ・毎週指定曜日に小学校（4校）へ来校し、外国語活動支援員として、教材作成や授業補助者として活動を行った。今年度は、外国授業補助者として学習支援を行った。 						
事業の成果等	自己評価	教諭補助員を配置したことで、一人一人の学習内容に応じた支援・対応ができたことで、個々の学力が向上できたと思われる。また、問題行動等においても教諭支援を行い、落ち着いた学校生活ができています。 平成23年度から小学校で必修となる外国語活動については、教材の精選・作成、授業方法の研究に役立った。これからの学校での本格的な授業内容成果が問われてくると思われる。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	今後は、町費のみの事業となりますが、継続を強く望みます。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	平成24年度より町単独事業となるが、教諭補助の指導実績や子どもたちへの対応が非常に高い評価を得ているため、今後も継続できるように努めていく。						

事業名	要保護・準要保護児童生徒 就学援助事業		所管課	学校教育課	担当	学校教育担当	
			費目	小中学校費			
事業費 (千円)	12,028	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							12,028
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備					
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進					
事業の内容等	学校教育法第19条に基づく、経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する。						
事業の実績等	<p>【要保護児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 1名 中学校 2名 計3名 ・修学旅行費（実費）のみの支給 ・支給総額 小・中学校 0円 <p>【準要保護児童生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 102名 中学校 59名 計 161名 ・認定者数は、年々増加。(H22年度：150名、H21年度：140名、H20年度：118名) ・学用品費等、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、医療費、学校給食費を支給。費目によっては、実費負担額支給をするが、限度額がある費目もある。 ・支給総額 小学校 6,277,759円 中学校 5,750,237円 ・毎年、2月の町広報で申請のお知らせをしている。随時申請も受け付けている（扶助費は月割） 						
事業の成果等	自己評価	準要保護児童生徒の増加は、景気が不安定な中にあり、また離婚等によるひとり親家庭が年々増加している現状からである。また、学校給食費等滞納者にあつては、学校と教育委員会で協議しながら申請を提出いただいている。就学援助事業を活用しながら、家庭教育力向上ができればと思っているところである。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	今後も判定審査を慎重に行ってください。					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						
	今後も要綱に基づき適正に処理していく。						

事業名	育英資金貸付基金事業			所管課	学校教育課	担当	学校教育担当				
				費目	事務局費						
事業費 (千円)	1,680	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源				
						1,680					
基本方針	重点目標	教育活動を支える環境の整備									
	主要施策	学校・家庭・地域が連携した教育の推進									
事業の内容等	育英助長の必要があると認める本町に住所又は本籍を持つ優秀な高校又は大学（短大）に在学（進学）する者の中で、学業優秀や身体強健等の意欲があり、経済的理由により学資の支弁が困難である者に対して修学上必要な資金として貸し付ける。										
事業の実績等	○ 大学生 月額20,000円 / 高校生 月額10,000円 の貸付										
	○ 貸付期間は当該学年から正規修業時まで 利率は無利子										
	○ 基金及び貸付者等の状況 (単位：千円, 人)										
		積立金	返済額	既認定者		申請者		認定者		貸付額	残額
				高校	大学	高校	大学	高校	大学		
	平成22年度	2,000		1	3		3	1	5	1,320	1,360
	平成23年度	2,000		1	5	1	1	2	6	1,680	1,680
	○ 平成20年度より貸付を開始している。みやき町育英資金運用委員会（委員5名）にて、採用者の決定を行っている。平成23年度は4/27に開催し、高校生1名・大学生1名の採用をした。										
	○ 返済については、平成24年度より始まる。6年以内で月賦又は年賦で返済する。										
事業の成果等	自己評価	育英資金貸付事業の開始から4年目である。町広報の2・3月号に掲載をして、募集を行い、現在8名の奨学生がいる。申請者においては、佐賀県等や他の育英資金貸付との兼ね合いを見ながら申請されている。 返済は平成24年7月から発生する。返済が開始しても貸付の方が多いので、積立等をしながら基金を賄っていく状況である。									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分										
評価委員	評価結果	指摘事項									
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし									
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等										

事業名	学校給食センター事業			所管課	学校教育課	担当	学校給食担当																				
				費目	給食センター費																						
事業費 (千円)	23,098	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																				
							23,098																				
基本方針	重点目標	児童及び生徒の心身の健全な発達に資する給食の提供																									
	主要施策	栄養バランスのとれた豊かな学校給食の提供																									
事業の内容等	小学校2校・中学校2校、一食あたり小学生245円・中学生294円で年間198回の給食を提供する。																										
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食の安全を徹底するために、調理員の衛生管理研修を実施した。(8月4日) ○ 安心・安全な給食提供のため、地元野菜の供給を推進した。 <p>*給食センター稼働回数 198回</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>年間回数</th> <th>児童数</th> <th>職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三根東小学校</td> <td>190</td> <td>191</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>三根西小学校</td> <td>190</td> <td>175</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>三根中学校</td> <td>190</td> <td>206</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>中原中学校</td> <td>190</td> <td>204</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>							学校名	年間回数	児童数	職員数	三根東小学校	190	191	21	三根西小学校	190	175	20	三根中学校	190	206	21	中原中学校	190	204	21
	学校名	年間回数	児童数	職員数																							
三根東小学校	190	191	21																								
三根西小学校	190	175	20																								
三根中学校	190	206	21																								
中原中学校	190	204	21																								
事業の成果等	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ○衛生管理を徹底し、食中毒等の事故も無く、充実した給食内容を提供できた。 ○給食費の未納はない。 																									
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分																										
評価委員	評価結果	指 摘 事 項																									
	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">達成</div> おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし																									
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等																										

事業名	ふるさと雇用再生基金事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	社会教育総務費			
事業費 (千円)	23,368	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			23,368				
基本方針	重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成 ・文化財の掘り起しや調査・整理・普及活用 					
	主要施策	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な放課後子どもプランの実施及び活動の推進 ・青少年の体験活動の充実及びサポート隊組織強化と活動の充実 					
事業の内容等	<p>○児童クラブサポート事業・・・サポート員1名配置し、町内児童クラブ4施設の運営活動支援及び指導員研修等を実施し資質向上を図る。</p> <p>○児童・生徒登下校等パトロール事業・・・町内小・中学校7校の児童・生徒の登下校時交通安全指導及び防犯パトロール等を実施し子どもたちの安全確保を図る。</p> <p>○文化財資料等調査・整理・収集・活用事業・・・町内の石造物の分布調査を中心に文化財・歴史資料の調査を行う。それで得られた基礎資料を元に、資料活用を活発化し、地域文化振興を図る。</p>						
事業の実績等	<p>○児童クラブサポート事業 委託先 特定非営利活動法人 佐賀県放課後児童クラブ連絡会 1名雇用 決算額 3,019,886円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ指導員研修会 H23.11.22実施。H23.12.26こすもす館にて「うたのおまつり」実施。各児童クラブにおいて、避難訓練実施。また、ミニコンサート、竹パン作り、楽積み木遊びなど遊びのコーディネーターとして運営支援を図った。中原養護学校在籍の利用児童の迎えをして保護者負担の軽減になる支援を行った。 <p>○児童・生徒登下校等パトロール事業 委託先 みやき町安全安心まちづくり町民会議 2名雇用 決算額 5,375,878円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の登下校時に青色回転灯をつけた自動車で行った防犯パトロールを実施。登下校時の交通事故や不審者情報が減少した。 <p>○文化財資料等調査・整理・収集・活用事業 委託先 株式会社 埋蔵文化財サポートシステム 4名雇用 決算額 14,973,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分布調査及び聞き取り調査の結果、石造物4,970点、古地名370箇所、民話7篇を調査し、その成果を報告書及び散策マップとして、まとめた。その基礎資料は、今後の文化財行政に大きな役割を果たすとともに、報告書・マップについては、町民への啓発活動の一環としても非常に有用なものとなった。 						
事業の成果等	自己評価	雇用失業情勢が下降局面にある中、雇用対策を目的として実施したところ、雇用創出を図ることができた。さらに、児童クラブの充実や指導員の資質向上、子どもたちの登下校時の安全確保を図ることができた。また、石造物や民話などの分布調査を行うことにより、みやき町の歴史把握に大きく貢献できた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	放課後児童健全育成事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	児童福祉総務費			
事業費 (千円)	17,517	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
				7,966		5,566	3,985
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	総合的な放課後子どもプランの実施および活動の推進					
事業の内容等	放課後児童に集団生活を体験させ、遊びを中心とした生活指導を通じて児童の健全育成を図るものとする。また、夏期休業中は地域住民との交流活動として各種団体（婦人会、老人クラブ、ボラ連）の協力を得て、運動、食育、昔遊び等の活動を実施する。						
事業の実績等	○ 児童クラブ受け入れ状況 放課後の時間に保護者等が家庭にいない小学校1年生～3年生の児童が対象、夏期休業中については、4年生～6年生も受け入れる。また、特別な事情で利用を必要とする4年生以上の児童についても放課後の受け入れを行う。						
	児童クラブ名	設置場所	利用児童数(放課後)1～3年生	利用児童数(放課後)4年生以上	利用児童数(夏休み)1～6年生	待機児童数	
	ひまわり児童クラブ	中原小学校敷地内	70	1	111	0	
	北茂安児童クラブ	北茂安小学校敷地内	62	2	109	0	
	三根東児童クラブ	三根東小学校敷地内	17	0	31	0	
	三根西児童クラブ	三根西小学校敷地内	29	4	54	0	
計		178	7	305	0		
事業の成果等	自己評価	放課後留守家庭の児童の安全で健やかな活動場所を確保し、遊びや集団生活を通して子どもの健全育成活動ができた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	子どもたちを取り巻く環境を考慮し受け入れ拡大を行い、保護者の需要に対応した。 学校・地域とも連携した運営を行い、指導員の確保・資質向上にも努力し、待機児童のないよう努めた。					
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	図書館事業			所管課	社会教育課	担当	図書館担当
				費目	図書館費		
事業費 (千円)	1,900	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						500	1,400
基本方針	重点目標	社会教育の振興、歴史や文化の情報発信					
	主要施策	生涯学習の環境づくり					
事業の内容等	町民が知りたい読みたい資料を購入及び他館より借受け提供し、町民の知的要求に応え、生活の向上を助ける。						
事業の実績等	○ 蔵書構成						
		一般書	児童書	AV資料	雑誌	合計	
	23年度末	50,133	20,069	1,890	2,810	74,902	
	内23年度受入分	(1,170)	(500)	—	(385)	(2,055)	
	○ 貸出実績						
		開館日数	館外貸出人員	館外貸出冊数	1日平均貸出冊数		
	285日	19,730人	84,288点	296点			
○ リクエスト、レファレンスサービス							
・ リクエスト 予約件数 1,213件 (貸出中資料については予約処理、未所蔵資料については購入及び他館より借受で対応)							
・ レファレンス 746件 (読書相談、調べものに対応)							
○ 図書館蔵書検索システム導入事業により、平成21年10月1日よりインターネット蔵書公開を開始している。							
事業の成果等	自己評価	インターネット蔵書公開により、町民により早く新着資料情報を提供できるようになり、サービスの向上に繋がった。町民の日常情報サービスの場として、生涯学習の場として、郷土の歴史や文化を学ぶ場としての充実に努めた。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	他市町と比べて予算が少ないため、予算の増を要望していただき蔵書の充実に努めていただきたい。 また、視聴覚資料についても同じである。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	近隣市町の状況を調査し、平成25年度当初予算で図書購入費の増額を検討する。また、視聴覚資料についても住民のニーズに応えられよう努めていく。						

事業名	生涯学習事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	公民館費			
事業費 (千円)	803	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
						652	151
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	生涯学習の環境づくり					
事業の内容等	住民の多様化する学習ニーズに対応して、各種教養講座や教室を実施し、住民の教養の向上、健康増進を図る。						
事業の実績等	各校区における公民館事業の実施状況						
	区分	事業の種類	回数	参加者数（人）			
				男	女	計	
	中原校区	みやき塾（中原編）、風カレッジ、パソコン講座、エコクラフトバッグ教室、パッチワーク教室、パソコン教室	45回	213	622	835	
	北茂安校区	みやき塾（北茂安編）、佐賀の歴史講座、トールペイント教室、布ぞうり教室、メイクアップ教室、書道教室	21回	155	405	560	
	三根校区	みやき塾（三根編）、生きがい講座、ガーデニング教室、樹脂粘土教室、リンパマッサージ教室	13回	24	257	281	
計		79回	392	1,284	1,676		
事業の成果等	自己評価	住民の生涯学習の情報提供、環境づくりが実施できた。住民のニーズに共感する講座・教室を開催し多くの参加者を得た。全体の参加者としては、平成22年度が1,451人、平成23年度が1,676人と225人の増加となった。また、介護予防事業と連携した高齢者向けの講座を行い、高齢者が生涯を健康で生きがいを持って生活できるよう支援した。今後も広報の他に、人の目につく場所でPRを行い参加者増に努める。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	青少年健全育成事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
				費目	社会教育総務費			
事業費 (千円)	4,047	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源	
							4,047	
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成						
	主要施策	青少年の体験活動の充実及びサポート隊組織強化と活動の充実						
事業の内容等	青少年健全育成指導員や青少年育成町民会議と連携し、地域での青少年育成や青少年サポート隊活動による子どもたちの安全安心な環境づくりに取り組む。							
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成指導員については、各地区1名の計57名に委嘱して、校区ごとに毎月1回指導員会議を開催し、地域での活動や現状報告を行い青少年の育成に取り組んだ。また、青少年健全育成指導員が主体となって地区懇談会を開催し、小・中学校の現状や教育委員会の取組み等を報告し、地域住民との意見交換を行った。(27地区実施) ・青少年育成町民会議においては、地区内で取り組まれる体験活動やふれあい交流活動に対して助成を行う「青少年育成地区活動補助事業」を実施。(43地区助成) ・広報啓発事業として、「少年の主張」文集を作成し各世帯に配布した。 ・小中学校交流主張会を11月に校区ごとに開催した。 ・青少年サポート隊による登下校時の立番や防犯パトロールを実施した。 ・組織強化として、隊長会議を年3回開催し、地区活動報告や防犯講話を実施した。また、福岡県岡垣町に先進地視察を行い様々な取り組みを参考にして活動の充実を図っている。 							
事業の成果等	自己評価	地域において子どもと大人が一緒になって参加する体験活動やふれあい活動を推進することにより、青少年育成の充実を図ることができた。また、青少年サポート隊の活動により、登下校時の交通事故や子どもたちが犯罪に巻き込まれるような事件を未然に防いでいる。						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分							
評価委員	評価結果	指摘事項						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	地区懇談会を全地区で行っていくように努力していただきたい。						
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等							
	地区懇談会については、「地域の子どもは地域で育てる」の基本理念を周知し、地域・学校・家庭（保護者）・教育委員会が連携して開催地区の増加に努める。							

事業名	文化財保護事業			所管課	社会教育課	担当	社会教育担当
				費目		文化財保護費	
事業費 (千円)	5,503	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			2,430	936			2,137
基本方針	重点目標	開発と埋蔵文化財の調整及び保護、史跡維持管理、その他業務の推進					
	主要施策	開発把握の徹底、史跡の活用、文化財の啓発活動の推進					
事業の内容等	開発を事前に把握し埋蔵文化財の有無を確認する確認調査事業、県・町指定史跡の維持管理事業、文化財の啓発活動事業など。						
事業の実績等	<p>○ 平成23年度開発に伴う確認調査実績件数 →12件（うち4件で遺跡を確認し、設計変更等により遺跡が保護された。） この事業により開発と埋蔵文化財保護との調整を行うことができた。</p> <p>○ 県指定史跡—4ヶ所、町史定史跡—2ヶ所の維持管理業務を実施し、年間をとおして景観美化に努めた。</p> <p>○ 歴史講座等の講座を行い、文化財への啓発活動を行った。 ・歴史講座—全8回で総計426名 前年度比較52名増 ・歴史講座中級編—全9回で総計64名 前年度比較 19名増 上記の参加者を集め、郷土の文化財への理解を深めていただき、地域活性化の一助となるよう努めた。 参加者数についても年々増加しているので、継続した啓発活動を行っていきたい。</p>						
事業の成果等	自己評価	<p>○ 開発に伴う確認調査については、文化財保護法に従い今後も継続的に事業を進め、地域歴史の証しである埋蔵文化財を守るべく努める。</p> <p>○ 史跡維持管理は、景観美化についてはほぼ達成している。昨今の情勢から史跡活用の有効的な方法を今後模索していく。</p> <p>○ 啓発活動の歴史講座については好評を得ているので今後も継続実施しつつ、文化遺産の活用を今後は模索していく。</p>					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	<p>歴史講座中級編は、地域を知る良い機会なので今後も継続してほしい。</p> <p>特になし</p>					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	放課後子ども教室事業		所管課	社会教育課	担当	社会教育担当	
			費目	社会教育総務費			
事業費 (千円)	1,251	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
			416	416			419
基本方針	重点目標	生涯学習の総合的な推進と青少年の健全育成					
	主要施策	総合的な放課後子どもプランの実施および活動の推進					
事業の内容等	<p>校区ごとに、スポーツ、手芸、英会話等の教室を実施し、多様な体験活動の機会を充実させ、子どもたちの心豊かな成長を育むことを図る。さらに、地域住民の参画を得ることにより、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進する。</p>						
事業の実績等	<p>○ 4月～2月にかけて毎月第1、第3土曜日の午前中に、中原風っ子元気スクール、茂安っ子いきいきスクール、三根わくわくスクールを実施した。また、夏休み期間においても、各校区において夏休み子ども教室を実施し多くの子ども達が参加した。</p> <p>○ 教室内容：スポーツ、手芸、英会話、木工、ハンドベル、遊んじゃ王（昔遊びや体験活動等）等</p>						
			放課後子ども教室名	開催回数	延べ参加者数	夏休み子ども教室開催回	参加者数
			中原風っ子元気スクール	17回	1,200名	12回	150名
			茂安っ子いきいきスクール	17回	1,112名	8回	98名
			三根わくわくスクール	17回	659名	11回	111名
		計	51回	2,971名	31回	359名	
事業の成果等	自己評価						
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	放課後子ども教室を実施したことで、子どもたちの安全で健やかな居場所を提供でき、小学1年生から6年生までの異年齢との交流も図ることができた。さらに指導員として地域の大人が参加することで地域との交流も深めた。参加者の減により「おおむね達成」と評価。					
評価委員	評価結果	指摘事項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	児童の減少による参加者の減と思われるため、「達成」と評価。 特になし					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	九州及び全国競技大会 出場補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	951	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							951
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	競技スポーツの振興					
事業の内容等	本町内に在住する者が、社会教育振興のため、九州地区又は全国競技大会に出場する場合に予算の範囲内において補助金を交付し出場者の負担軽減を図る。						
事業の実績等	<p>○ 全国大会 バウンドテニス(東京都 1名) 小学少年少女空手(東京都 3名) 女子フットサル(兵庫県 1名) 中学生空手(群馬県 9名・北海道 4名) 女子9人制バレー(岡山県 10名) マスターズ陸上(和歌山県 1名) 硬式テニス(神奈川県 1名・東京都 2名) スポレク祭(栃木県 3名)</p> <p>小計35名 615千円</p> <p>○ 九州大会 中学野球(福岡県 21名) 学童野球(熊本県 18名) テニス(熊本県 1名) ラグビー(宮崎県 1名) 水泳(鹿児島県 17名) Jr女子サッカー(熊本県 3名、沖縄県 1名) 女子フットサル(熊本県 1名)</p> <p>小計63名 336千円</p> <p>合計 のべ98名 951千円 (前年度80名 654千円)</p>						
事業の成果等	自己評価	昨年と比較して全国大会出場では、2名 180千円、九州大会出場では、16名 117千円のいずれも増となった。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分						
評価委員	評価結果	指摘事項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	特になし					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等						

事業名	町体育協会補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当																													
			費目	保健体育費																															
事業費 (千円)	3,500	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																												
							3,500																												
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興																																	
	主要施策	競技スポーツの振興																																	
事業の内容等	様々な各種団体の事業実施に伴う事業費の補助、また、県民体育大会出場者に対する派遣費等の補助を行う。																																		
事業の実績等	<p>○ 専門部事業実施回数</p> <table border="0"> <tr> <td>・剣道部</td> <td>2回</td> <td>・柔道部</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>・陸上部</td> <td>0回</td> <td>・ゲートボール部</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>・野球部</td> <td>1回</td> <td>・グラウンドゴルフ部</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>・卓球部</td> <td>1回</td> <td>・テニス部</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>・バレーボール部</td> <td>4回</td> <td>・ゴルフ部</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>・ソフトボール部</td> <td>4回</td> <td>・相撲部</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>・バトミントン部</td> <td>3回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">計 45回</p> <p>○ 県民体育大会実績 総合順位 町の部 第3位</p> <p>主な結果 (団体) バレーボール女子優勝・卓球女子、テニス女子、野球男子A 2位</p> <p>(個人) 水泳60歳以上自由形、走り高跳び 2位・3段跳び3位</p>							・剣道部	2回	・柔道部	3回	・陸上部	0回	・ゲートボール部	10回	・野球部	1回	・グラウンドゴルフ部	6回	・卓球部	1回	・テニス部	7回	・バレーボール部	4回	・ゴルフ部	3回	・ソフトボール部	4回	・相撲部	1回	・バトミントン部	3回		
・剣道部	2回	・柔道部	3回																																
・陸上部	0回	・ゲートボール部	10回																																
・野球部	1回	・グラウンドゴルフ部	6回																																
・卓球部	1回	・テニス部	7回																																
・バレーボール部	4回	・ゴルフ部	3回																																
・ソフトボール部	4回	・相撲部	1回																																
・バトミントン部	3回																																		
事業の成果等	自己評価	<p>会員数については若干名の減少となったが、専門部事業実施数については前年並みである。また、県民体育大会においては総合順位を3位と振り返り、入賞を果たした。</p>																																	
	<p><input checked="" type="checkbox"/> 達成</p> <p>おおむね達成</p> <p>やや不十分</p> <p>不十分</p>																																		
評価委員	評価結果	指摘事項																																	
	<p><input checked="" type="checkbox"/> 達成</p> <p>おおむね達成</p> <p>やや不十分</p> <p>不十分</p>	特になし																																	
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																																		

事業名	町民体育大会実行委員会 補助事業		所管課	社会教育課	担当	社会体育担当	
			費目	保健体育費			
事業費 (千円)	1,800	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							1,800
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興					
事業の内容等	スポーツ・レクレーションを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域スポーツの振興と明るく豊かな町づくりのため町民体育大会を開催する実行委員会に補助金を交付することにより大会経費の軽減を図る。						
事業の実績等	<p>○ 中原校区町民体育大会 事業費600千円 参加人数 幼児115人、小中学生120人、一般865人 合計1,100人 得点種目(分館対抗)4種目、リレー種目7種目、レクレーション種目10種目で開催された。</p> <p>○ 北茂安校区町民体育大会 事業費600千円 参加人数 幼児120人、小中学生130人、一般1,050人 合計1,300人 得点種目(分館対抗)4種目、リレー種目2種目、レクレーション種目11種目で開催された。</p> <p>○ 三根校区町民体育大会 事業費600千円 参加人数 幼児20人、小中学生115人、一般1,465人 合計1,600人 得点種目(分館対抗)7種目、リレー種目4種目、レクレーション種目6種目で開催された。</p>						
事業の成果等	自己評価	<p>当日は晴天に恵まれ、孫からおじいちゃん、おばあちゃんまで一緒になって競技することができた。</p> <p>北茂安校区、三根校区において、種目変更を行い実施した。</p>					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	特になし					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						

事業名	各種スポーツ大会等開催事業			所管課	社会教育課	担当	社会体育担当
				費目	保健体育費		
事業費 (千円)	828	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源
							828
基本方針	重点目標	たくましい心身の育成をめざす 町民総スポーツの振興					
	主要施策	多様なニーズに対応できる生涯スポーツの振興					
事業の内容等	スポーツを通じて町民の融和と健康づくりを図り、生涯スポーツ、地域間スポーツの振興と明るく豊かな町づくりを目指す。						
事業の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6/5 特別巡回ラジオ体操、指導者講習会 ラジオ体操 600名、指導者講習会 150名参加 ○ 6/26 第7回分館対抗女子ミニバレーボール校区大会 41チーム580名の参加(1位 中原校区・綾部、北茂安校区・白石、三根校区・新町) 7/10 第7回分館対抗女子ミニバレーボールみやき町大会 12チーム155名の参加(1位 綾部、2位 西分、3位 東尾・中津隈) ○ 9/16 第6回分館・クラブ対抗ナイタースーパーキックベースボール大会 14チーム154名の参加(Aパート1位三根中教員、Bパート1位 北茂安小教員) ○ 10/30 第6回分館対抗男子スローピッチボール大会 29チーム464名の参加予定であったが、当日降雨により中止 ○ 11/4 登山教室 唐津市~小城市 天山 15名の参加 ○ 11/7~18 第6回クラブ対抗女子ミニバレーボールリーグ戦 17チーム242名の参加(A ホッピー、B原古賀エンジョイ、C ハッピーズ) 						
事業の成果等	自己評価	開催内容の大会・教室において、参加者数に多少の変動はあるが、安定した参加が見られている。分館対抗男子スローピッチボール大会が降雨の為に中止になったことが惜しまれる。また、登山教室の参加者が多く抽選を行っているため、参加者の増を検討しなければいけない。					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分						
評価委員	評価結果	指 摘 事 項					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	参加者の抽選を行っている「登山教室」については、参加者数の拡大を検討していただきたい。					
次年度以降の取組み	指 摘 事 項 を 受 け て の 改 善 点 等						
	社会福祉協議会所有の大型バスに乗れる範囲内、及び予算の範囲内で参加者の拡大を図ります。						

事業名	北茂安 B&G 海洋センター		所管課	社会教育課	担当	北茂安 B&G 海洋センター担当																																	
	教室開催等事業		費目	B&G 海洋センター費																																			
事業費 (千円)	0	財源	国庫	県費	地方債	その他	一般財源																																
基本方針	重点目標	町民総スポーツの振興とたくましい心身の育成																																					
	主要施策	競技スポーツの振興																																					
事業の内容等	町民への水泳及び水中運動を対象者毎に開催し、B&G 海洋センターの周知及び利用促進を図る。																																						
事業の実績等	<p>22年度より B&G 財団が推進しております「水の事故ゼロ運動」の一環として、「水辺の安全講習」を導入し、さくらの杜保育園や松若幼稚園園児への水難防止訓練を行った。幼児の部の主な内容としては、幼児にわかりやすい水難防止の紙芝居やフロートによる水慣れ等の講習を行い幼児にもわかりやすいよう、年中児には溺れている人を見たらすぐに他の大人を呼びに行く事を集中して教え、年長児は幼児に飽きが来ないように、2回に分けて年中児よりライフジャケット着用体験や、ペットボトルでの救助体験等の中身が濃い教室を行った。子どもの水の事故を防ぐ教室として有効であると考えますので、幼児向けの各種教室を本年度も引き続き行い水の事故をなくす事を目的としながら、B&G の周知を徹底し利用促進につなげたい。</p>																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>対象者</th> <th>開催回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼児水泳教室</td> <td>さくらの杜保育園年長児</td> <td>24回</td> <td>412名</td> </tr> <tr> <td>水の授業参観日</td> <td>さくらの杜保育園年長児の保護者</td> <td>2回</td> <td>72名 幼児・保護者</td> </tr> <tr> <td>さくらの杜保育園水辺の安全教室</td> <td>さくらの杜保育園年長児</td> <td>1</td> <td>23名</td> </tr> <tr> <td>新町子どもクラブ水泳教室</td> <td>新町子どもクラブ</td> <td>1</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>松若幼稚園水難防止訓練</td> <td>松若幼稚園年中児</td> <td>1</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>松若幼稚園水難防止訓練</td> <td>松若幼稚園年長児</td> <td>2回</td> <td>58名</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>31回</td> <td>591名</td> </tr> </tbody> </table>							教室名	対象者	開催回数	参加者数	幼児水泳教室	さくらの杜保育園年長児	24回	412名	水の授業参観日	さくらの杜保育園年長児の保護者	2回	72名 幼児・保護者	さくらの杜保育園水辺の安全教室	さくらの杜保育園年長児	1	23名	新町子どもクラブ水泳教室	新町子どもクラブ	1	14名	松若幼稚園水難防止訓練	松若幼稚園年中児	1	12名	松若幼稚園水難防止訓練	松若幼稚園年長児	2回	58名	合 計		31回	591名
	教室名	対象者	開催回数	参加者数																																			
	幼児水泳教室	さくらの杜保育園年長児	24回	412名																																			
	水の授業参観日	さくらの杜保育園年長児の保護者	2回	72名 幼児・保護者																																			
	さくらの杜保育園水辺の安全教室	さくらの杜保育園年長児	1	23名																																			
	新町子どもクラブ水泳教室	新町子どもクラブ	1	14名																																			
	松若幼稚園水難防止訓練	松若幼稚園年中児	1	12名																																			
	松若幼稚園水難防止訓練	松若幼稚園年長児	2回	58名																																			
合 計		31回	591名																																				
事業の成果等	自己評価	はじめに「溺れている人を見たらどうしますか？」との問いに、幼児は「助けに行く」という答えが多かった。しかし、この教室の後は「溺れている人を見つけても絶対に水に入らない。すぐに大人の人を呼びに行く」と復唱し、正しい救助方法を理解できたように思えますので、24年度も引き続き続けていきたいと考えております。																																					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分																																						
評価委員	評価結果	指摘事項																																					
	達成 おおむね達成 やや不十分 不十分	コミュニティバスを利用する等、三根・中原校区の一般者の利用の拡大に努力してほしい。また、冬でも利用できる温水プールの宣伝を行ってほしい。																																					
次年度以降の取組み	指摘事項を受けての改善点等																																						
	みやき町内の小中高校生を対象に広報を行い、若年層への広報を行いながら、三根・中原校区からのコミュニティバス運行表の中にB&Gを利用できる運行を関係部署へ依頼し、利用者の拡大を図りたいと考えております。																																						